長對	予工業高等	等專門学校	開講年度 平成28	年度 (2016年度)	授	業科目	実験実習Ⅳ		
科目基础		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	17.5213 1 22 1 23.423	1,2 (====1,2)		×13.1.1			
科目番号		0042		科目区分		専門 / 必修			
授業形態実験・実習			習	単位の種別と	_単位数	履修単位:	2		
開設学科環境都市」			工学科	対象学年		5			
開設期前期				週時間数		4			
教科書/教	牧材	「2009年	土木学会編 『土木材料実験打 F版] 』(土木学会) 断広 『やさしい環境化学実験	高専十質実験教育研究	上木学会) 法会編 『第			造実験の手引き 注) 早川 信一	
担当教員		古本 吉備	🕯 ,松下 英次,浅野 憲哉,轟 直希	,奥山 雄介					
到達目標	標								
定量的に	評価する実	験を理解し説	の性質を定量的に評価する実 明できる.構造実験に関して( 標の(D-1)および(D-2) <i>0</i>	は座学で学んだ現象を	衛生実験 実際に再現 	に関しては, ・検証する3	一般水質項目 実験を理解し説	の理解と, それらを 明できる. これらの	
ルーブ!	リック						T		
			理想的な到達レベルの目安	標準的な到達	をレベルの	目安	未到達レベル	の目安	
評価項目1									
評価項目2									
評価項目:		TO 1 - 22	1/5						
		項目との関	徐						
教育方法	法等								
概要			通じて講義内容の理解を深める	·	りで得られ	た結果の整理	世や考察に必要	な素養を養う.	
授業の進	め方・方法	レポー く成績評	ト課題を課すので、期限に遅れ	れずに提出すること.					
注意点		<オフィ   毎週水   <先修科	実験および構造実験のいずれ スアワー> 曜日16:00〜17:00, 環境都は 目・後修科目> 目:実験実習III						
授業計画	 画	\  H '5/							
X> \C		週	授業内容		週ごと	 の到達目標			
前期	1stQ	1週	地盤工学実験:土の三軸試験			土の三軸圧縮試験の目的,内容,試験機の操作が理解でき,実験結果の判定および考察ができる.			
		2週	地盤工学実験:設計CBR試験			設計CBR試験の目的,内容が理解できる.			
		3週	地盤工学実験:浸透流の可視	化試験	10000		験の目的,内容		
		4週	地盤工学実験:スウェーデン	式サウンディング試験	解でき	る.		験の目的,内容が理 	
		5週	地盤工学実験:データ解析		地盤工学実験のデータを取りまとめ報告することがで きる.				
		6週	構造実験:はりのたわみ測定	による弾性理論の検証		はりのたわみの測定方法が修得でき,弾性理論の正しさが検証できる.			
		7週	構造実験:構造用鋼材の引張試験によるひずみの測定			試験機の操作方法を習得でき,平鋼の応力-ひずみ曲線 および鋼材の緒性能が理解できる.			
		8週	構造実験:はりの支点反力と曲げモーメントの影響線			はりの支点反力の測定方法が修得でき、曲げモーメントの影響線が理解できる.			
		9週	構造実験:鉄筋の引張試験による応力-ひずみ関係			鉄筋を判断するまで試験を行い,特徴的な鋼材の塑性などの応力-ひずみ曲線の緒性能が理解できる.			
		4 O ) 🖽	構造実験:データ解析			構造実験のデータを取りまとめ報告することができる.			
		10週						告することができる	
		11週	衛生実験:一般水質分析		pH, S		と		
	2ndQ		衛生実験:一般水質分析 衛生実験:溶存酸素分析		滴定法	SSなどの一般	酸素分析を行い	的,内容を理解できる	
	2ndQ	11週		酸素要求量)分析	滴定法 内容を BODの	SSなどの一般 により溶存 理解できる.	   酸素分析を行い  -   目的および内容	告することができる 内,内容を理解できる ,特徴,目的および を理解でき,有機物	
	2ndQ	11週	衛生実験:溶存酸素分析		。 滴定法 内容を BODの の生物 CODの できる	SSなどの一般 により溶存に 理解できる。 O分析方法, I分解性を考 O分析を行い	酸素分析を行い ・ 目的および内容 察できる・ ,分析方法の目	り、内容を理解できる 、特徴、目的および を理解でき、有機物 目的および内容が理解	
	2ndQ	11週 12週 13週	衛生実験:溶存酸素分析 衛生実験:BOD(生物化学的		。 滴定法 内容を BODの の生物 CODの できる	SSなどの一般 により溶存に 理解できる。 O分析方法, I分解性を考 O分析を行い	酸素分析を行い ・ 目的および内容 察できる・ ,分析方法の目	り、内容を理解できる 、特徴、目的および を理解でき、有機物 目的および内容が理解	
	Č	11週 12週 13週 14週	衛生実験:溶存酸素分析 衛生実験:BOD(生物化学的 衛生実験:COD(化学的酸素		。 滴定法 内容を BODの の生物 CODの できる	SSなどの一般 により溶存に 理解できる。 O分析方法, I分解性を考 O分析を行い	酸素分析を行い ・ 目的および内容 察できる・ ,分析方法の目	り、内容を理解できる 、特徴、目的および を理解でき、有機物 目的および内容が理解	
平価割る	Č	11週 12週 13週 14週 15週 16週	衛生実験:溶存酸素分析 衛生実験:BOD(生物化学的 衛生実験:COD(化学的酸素 衛生実験:データ解析	要求量)分析	高 内容を BODの の生物 CODの できる 衛生実	Sなどの一般 により溶存に 理解できる。 O分析方法, D分解性を考 O分析を行い は S験のデータ	酸素分析を行い ・ 目的および内容 察できる. ,分析方法の目 を取りまとめ報	的,内容を理解できる,特徴,目的および を理解でき,有機物 はのおよび内容が理解 告することができる	
平価割る		11週 12週 13週 14週 15週	衛生実験:溶存酸素分析 衛生実験:BOD(生物化学的 衛生実験:COD(化学的酸素 衛生実験:データ解析	要求量)分析	滴定法 内容を BODの の生物 CODの できる 衛生実	SSなどの一般 により溶存に 理解できる。 O分析方法, I分解性を考 O分析を行い	酸素分析を行い ・ 目的および内容 察できる. ,分析方法の目 を取りまとめ報	的,内容を理解できる ,特徴,目的および を理解でき,有機物	